

●導入事例レポート

沖縄都市モノレール様に、L3スイッチ「FXC9432」、ギガビット L2+ スwitch「FXC6528」、ネットワーク機器統合管理システム「FSV-MGR01」をご導入いただきました。



沖縄都市モノレール



沖縄都市モノレール

沖縄県那覇市を拠点とする第三セクターの軌道事業者として、県内唯一の軌道系交通である都市モノレール「ゆいレール」を運営しています。

社員数: 272名 (2025年4月時点)

年間利用者数: 22,227,865人 (2024年度・過去最多)

那覇市字鏡水 (那覇空港) ~ 浦添市前田 (てだこ浦西駅) までの約17kmの区間で運行しています。

ゆいレールのネーミングは沖縄方言の「ゆいまーる」に由来します。結びつきなどといった意味があり、モノレールが地域や人々をつなぐ絆となる、といった願いをこめて命名されました。

導入背景と選定のポイント

沖縄都市モノレールは全線で列車運行管理システムを導入しているほか、列車運行情報やデジタルサイネージといった内外の情報をお知らせするシステム、防犯カメラや運用監視を行うための監視機器、列車制御システムならびにWi-Fiサービスなど、互いに通信を必要とする様々なシステムを利用しています。

これら駅務機器や監視カメラの増設に伴い、ネットワーク基盤の強化が求められました。

コストパフォーマンスが高く、安定稼働と拡張性を備えた基盤整備を目的として、FXC製品はすべての条件を満たし選定に至りました。

導入後の効果と FXC への期待

交通の特性上、システムネットワークのインフラにかかる負担は大きく、止まらないネットワーク基盤としての期待は大きくあります。

お客様からは、「導入機器は問題なく稼働しており、安定した基盤として機能しています。本格的な効果検証はこれからですが、運用準備が順調に進んでいる、安定運行を支える基盤として期待している、といった段階です」とのお言葉をいただきました。

沖縄都市モノレールにおけるネットワークの今後について、今後も利用者サービスを支えるために、ネットワークの強化と効率的な運用を継続していきます、とのことでした。

FXCに期待することとしては「安定稼働とコストパフォーマンスの維持に加え、監視・保守の利便性向上に資する製品を期待しています」とのコメントをいただきました。

FXCのネットワーク技術が、安全と安定が最優先される交通インフラの基盤を支えています。これからも私たちは、技術革新を通じて、人と社会のつながりをより確実に豊かなものにし、未来のコミュニケーションを創造していきます。



【導入ネットワーク概略図】



沖縄都市モノレール様、各駅施設でFXC製品稼働中。統合管理アプライアンスで運用監視中。

【導入製品】

10Gアップリンク L3 スタックブルスイッチ
FXC9432



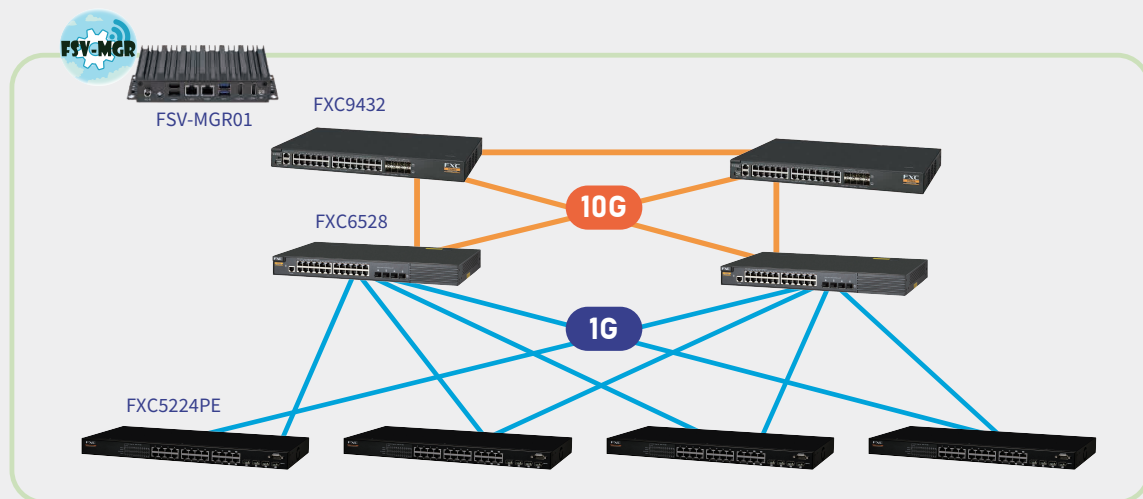
10Gアップリンク L2+ スタックブルスイッチ
FXC6528



ギガビット L2 PoE スイッチ
FXC5224PE



冗長構成による高可用性と運用保守の効率化を実現



FSV-MGR01 の特長と効果

1. トラフィック可視化

ポートごとのトラフィックをグラフ表示し、超過を自動検出。ネットワークの異常を予兆検知できます。

2. TACT (トリガアクション) 機能

機器切断やトラフィック異常をトリガに、パトランプ連携を含む多様なアクションを自動実行。障害発生時の即時対応を支援します。

3. 死活監視・通知

リアルタイムな死活監視とメール通知で、障害を即座に検知し対応を迅速化、運用負担を軽減します。

4. 一括設定

コンフィグの一括反映や初期ネットワーク設定で、機器の導入・設定にかかる工数を大幅に削減します。

5. サーバーレス構成

専用サーバー不要のアプライアンスで、24時間途切れない安定した監視体制を確保します。

ユーザー様/パートナー様



沖縄都市モノレール株式会社
〒901-0143 沖縄県那覇市字安次嶺377番地2

株式会社沖縄エジソン 通信営業部 平田 盛喜様
〒902-0072 沖縄県那覇市字真地369番地

<https://www.yui-rail.co.jp>

<http://www.edison.co.jp>